

BIG BEN

- p1 鶴岡大使の就任挨拶
- p2 写真探訪：サウスオール
- p3 領事だより：大使館への手続き
- p4-5 短信：各種催し物案内
- p6 英国日本婦人会 60 周年
- p7 エッセー：Long Live the Queen!
- p7 年次ゴルフ大会結果
- p8 クラブサロン、同好会案内



鶴岡公二大使
(日本クラブ名誉会長)

大使就任の挨拶

林景一前大使の後任として、6月6日にロンドンに着任しました鶴岡公二です。

私はこれまで旧ソ連、米国、インドネシアでの大使館勤務や本省から国連等の多国間場で仕事をすることが多く、直近ではTPP交渉に携わっておりました。今回は、大使として最も外交の世界で重きをなしている英国で活動できることを大変嬉しく思っております。

日英両国は150年以上続く友好的な関係を有し、民主主義、法の支配、人権、自由で透明な市場等の基本的価値を共有しています。日本企業による英国への積極的な投資は、英国国内で14万人の雇用を生み出すなど、強固な経済関係を築いており、良好な日英関係の礎となっています。また、日英両国は、商業や投資のみならず、テロ・暴力的過激主義対策、気候変動、地域における問題や防衛・安全保障協力といった様々な課題にも力を合わせて取り組んでいます。このような協力の強化は、先般の安倍総理大臣の訪英やG7伊勢志摩サミットにおいても首脳間で確認されたところです。

政治、経済、文化といったあらゆる分野における日英両国のつながりを、未来の世代のために一層強化することが駐英国大使としての役目であると考えております。

日本を発信していく拠点として来年開館予定であるジャパン・ハウスでは、伝統文化から現代文化まで、日本のあらゆる魅力を紹介してまいりたいと考えています。日本ではまた、2019年にラグビー・ワールドカップ、2020年に東京オリンピック・パラリンピックの開催が予定されており、より多くの英国の人々に日本への関心を持っていただけると期待しています。日本クラブならびに在留邦人の皆様、当地関係団体の皆様のご支援を得ながら、これらの機会を日英関係の更なる発展につなげてまいりたいと思います。

日本クラブは、診療所や日本人学校、補習授業校の運営を通じて、保健や子女教育の面で会員の英国における生活を支援するとともに、自らも日英交流促進活動を行うことによって、半世紀以上にわたり、良好な日英関係を支えてきました。引き続き会員の皆様のニーズに応えて重要な役割を果たしていかれまますよう期待いたします。

最後に、大使館の業務に今後とも日本クラブ会員の皆様のご理解とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

鶴岡大使のプロフィール

- 1952年 生まれ
- 1976年 東京大学法学部卒業
外務省入省
- 2004年 総合外交政策局審議官
- 2006年 地球規模課題審議官
- 2008年 国際法局長
- 2010年 総合外交政策局長
- 2012年 外務審議官
- 2013年 内閣官房 TPP政府対策本部 首席交渉官
- 2016年4月 在英國日本国大使館 特命全權大使

日本クラブ周辺とシティー

歴史を知る散策ツアー

日本クラブ会員サービス委員会ではサウスバンクおよびシティーの歴史を探访する散策ツアーを6回にわたり企画し、参加者を募集している。ツアーガイドはおなじみのシティー公認ガイドの坂次健司氏で、3つのコースのツアーを各2回ずつ計6回行う。各コースの詳細は右表の通り。(ツアーはいずれも土曜日午後2時30分より)



シェークスピアのグローブ座

●コース①：サウスバンク～シティーの散策

散策日：7月2日、9月17日

シティーに負けない深い歴史があるテムズ南岸のサザック地区、チョーサー、シェークスピア、ディケンズの息吹を感じさせる旧跡を巡ります。

●コース②：シティー中心部の散策

散策日：7月9日、9月24日

シティー発祥から中世、近世そして現代へ発展した史跡のメインポイントを散策します。40万人が働くシティーも土曜日はガラガラ、ゆっくり回れます。

●コース③：シティー東部の散策

散策日：9月10日、10月1日

シティーに最も近くて遠い街と言われる東部の移民街に足を踏み入れ、伝統的な職人街や元マーケット等を回り、シティーと共存してきた歴史を探ります。

申し込み、詳細は事務局まで(7月分はすでに締め切り)

020-7921-9490(担当半田)、m.handa@nipponclub.co.uk

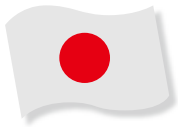
写真探訪 Around London

【Southall】



ロンドン西部のイーリング区にあるサウスオールは通称「リトルインディア」と呼ばれるインド人街として知られている。第2次大戦後ヒースロー空港建設の作業員として移民したインド亜大陸出身者が住みだしたのが始まりで、現在ではこの地区の人口の半分以上を占めている。町の中心にはサリーやアクセサリーを扱う店や、カレーレストラン、道端で天ぷらよろしくサモサやオニオンバージを揚げている屋台、カラフルなインドケーキをウインドーに並べた店が建ち並ぶ。ハリウッド映画専門の映画館や、シーク教の大寺院もあるし、歩いている人もターバンをまとった男性やサリーを着た女性が多く、店の看板にはヒンドゥー語やバンジャール語が書かれ、まるでニューデリーかムンバイに迷い込んだような気分になる。ここのインド人社会は単なる商店街だけではなく、学校から公民館、会計士、弁護士、政治家から役人、医者に至るまで大規模な人口を支えるインフラが整ったインド人社会になっている。

(文・写真 加藤節雄)



領事便り

在英国日本国大使館領事 竹内誠治



大使館への手続きをお忘れなく

5月下旬、田辺領事の後任として着任いたしました。今後領事だよりを担当することとなりますのでよろしくお願い致します。初回は、大使館への必要な登録等につきお知らせいたします。手続きの詳細については、当館領事班ホームページまたは直接お電話でご確認下さい。

●英国に來られた方へ

＜在留届＞

英国に3か月以上滞在する場合には、大使館へ在留届を提出いただくことが必要です。

提出はインターネット(<http://www.ezairyu.mofa.go.jp/>)大使館領事班窓口、FAX、郵便で行うことができます。

＜在外選挙人名簿への登録＞

英国に住むために日本の住民票を抜いて來られた方は在外選挙人名簿へ登録することで国政選挙に参加できます。

投票ができる国政選挙は、衆議院・参議院の各比例代表選出議員選挙、衆議院小選挙区選出議員選挙、参議院選挙区選出議員選挙及びそれらの補欠選挙と再選挙です。また、在外選挙人名簿に登録されている方は、在外選挙と同様の方法で、「憲法改正国民投票法」に基づく国民投票を行うことができます。

なお、在外選挙人証は、日本における前居住地の選挙管理委員会が発給するため申請から受領まで2～3ヶ月かかります。

＜英国運転免許証への切替え＞

英国において日本の運転免許証及び国際運転免許証で運転できるのは、英国に住み始めてから一年間だけです。一年以上滞在する予定の方は、早めに英国免許への切替え手続きを行ってください。

大使館では切替え手続きに必要な「自動車運転免許証抜粋証明書」を発給しています。

＜教科書の無償配布＞

大使館では、英国在住で将来日本へ帰国することを予定している小・中学生を対象に、日本の教科書を無償で配布しています（申請は毎年4月及び9月です）。

なお、日本人学校、補習授業校及び立教英国学院に通学している場合は、各校から配布されます。

＜安全・領事情報＞

大使館ホームページには、英国の現地事情を踏まえた安全情報や各種領事業務の案内が掲載されていますので、ご利用下さい。

また、大使館は、在留届にe-mailアドレスをご記入頂いた方に「日本国大使館領事班からのお知らせ」を配信しています。

●英国を去られる方へ

＜帰国・転出届＞

英国を去られる場合には、帰国・転出届を提出しなければなりません。

帰国・転出届の提出がない場合、緊急事態の際などに当館から日本の留守宅等へ確認の電話をさし上げることもあり得ますので、忘れずに提出してください。

＜在外選挙人証＞

日本へ帰国後、国内の選挙人名簿に登録されるまでの間（住民票を入れてから3か月間）は、在外選挙人証を提示して投票する必要がありますので大切に保管してください。

不用になった在外選挙人証は、市区町村選挙管理委員会に返却してください。

＜日本の運転免許証＞

日本の運転免許証の有効期限が切れた場合は、失効後3年以内であれば運転免許センター等で再取得ができます。また、英国運転免許証から日本の運転免許証へ切替えることも可能ですが、手続きの詳細は、日本の各公安委員会に直接お問い合わせ下さい。

◆大使館領事班ホームページ

<http://www.uk.emb-japan.go.jp/jp/ryoji>

大使館領事班代表番号 020-7465-6565

大使館領事班FAX番号 020-7491-9328

短 信

COMMUNITY PLAZA



メアリー・ブラウニングさん叙勲

第2次大戦後の日英の和解活動、また、真の和解には若い世代の交流が必要ということで、英国の若者と日本の若者との良好な関係の促進を目的とした日英青年交流の任意団体「五年会」のコーディネーターとして長年活動してきたメアリー・グレース・ブラウニングさんが旭日双光章を受章した。叙勲伝達式は6月15日(水)に日本大使館で行われた日英和解レセプションの席であり、着任早々の鶴岡大使より勲章と勲記が伝達された。この和解レセプションは1997年より毎年大使館で開催されており今年で20回目を迎えた。元英兵、民間人捕虜だけでなく、若い世代も招待されて在英日本人とともに日英交流を深めている。(写真①)

Hyper Japan 7月15-17日

日本の現代ポップカルチャーから伝統文化まで、多様な日本文化を紹介する「ハイパージャパン・フェスティバル」(クロスメディア社主催)は今年10回目を迎え、会場を再びオリンピアに移して開催される。漫画、アニメ、コスプレ、日本食、酒体験をはじめ、特別ゲストとしてエレクトロラップユニット Charisma.com や「となりのトトロ」の主題歌を歌った歌手の井上あずみ等が出演する。(写真②)
7月15日(金)~17日(日)
会場: Olympia Grand, Hammersmith Road, Kensington, London W14 8UX
入場料: 前売券 £15 - £17
3日共通券 £43、酒体験 £15
www.hyperjapan.co.uk

ホックニーの肖像画展

現代英国を代表する画家デイビッド・ホックニーの肖像画展が開催される。この展覧会では過去2年間半に彼のロサンジェルススタジオで制作された肖像画82点と静物画1点が展示される。肖像画の中には著名人を描いたものがたくさんある。(写真③はBarry Humphries)
●David Hockney RA: 82 Portraits and 1 Still-life
7月2日(土)~10月2日(日)
The Sackler Wing of Galleries
Royal Academy of Arts
Burlington House, Piccadilly, London W1J 0BD
入場料: £11.50(With Gift Aid)
*チケットは前売りのみ
www.royalacademy.org.uk

ハンプトンコートパレス・フラワーショー 井本沙織さんが日本庭園「青い陰影の庭」を出展

ロンドンをベースにパートナー・ガーデンデザイナーとして活躍する井本沙織さんが、世界最大の造園展であるハンプトンコートパレス・フラワーショーに選ばれて出展する。

彼女の作品は新緑の竹と苔を背景にアジサイや花菖蒲を配置し、日本の初夏の瑞々しい風景を再現するもので、群植した竹の陰影によりアジサイの青を引き出し幻想的な雰囲気を出している。また、空間に間を持たせること

により、新緑と青を基調に日本ならではの「満ち足りた静寂」を演出している。井本さんによれば、「日本は特徴的で多様な植生を持つ国であり、その自然風景の美しさを世界に紹介したい」「日本の美意識である『陰影礼賛』『非対称性』『見え隠し』等の独自の空間構成に基づき作庭をした」とのこと。

●Hampton Court Palace Flower Show
East Molesey, Surrey KT8 9AU
7月5日(火)~10日(日)

午前10時~午後7時30分(最終日5時30分)

ロンドンのWaterloo駅からHampton Court Palace駅まで電車で30分
www.rhs.org.uk/shows-events/rhs-hampton-court-palace-flower-show



短 信

COMMUNITY PLAZA



小林純子 Oxford 演奏会

ロンドン在住のピアニストの小林純子さん(写真④)がオックスフォードのホリウエル・ミュージック・ルームでコンサートを開催する。このリーゼンシー・スタイルのエlegantな建物は音楽会専用に使われたものとして、ヨーロッパ最古(1748年)のもので、ハイドンもここで演奏した記録がある。今回の小林さんの演奏会はすべてショパンの曲を演奏する。

Waltzes Nocturnes Mazurkas

Piano Sonata No.3, the Barcarolle

●CHOPIN - Junko Kobayashi

Holywell Music Room

Holywell Street, Oxford OX1 3BN

8月27日(土)11:30am

入場料:£15 (TEL: 01865-305305

or ticketoxford@oxfordplayhouse.com

or at the Door)

※演奏会入場者は3:30pmからのWorcester College Garden Tourに特別参加(£10, 30名限り)できる。

エジプトの海底都市再発見

ナイル河口、地中海の海底に眠っていた古代エジプトの2つの都市が再発見され、関連資料を集めた展覧会が大英博物館で開催されている。2つの都市はトニス・ヘラクレイオンとカノプスで、前者は交易の中心地、後者は信仰の中心地として栄えた。展覧会では石像や宝石類、信仰の道具等が展示され、ナイル河口のエジプト文明を解明している。(写真⑤)

●Sunken Cities, Egypt's Lost World

11月27日(日)まで

Room 30, British Museum: Great

Russell Street, London WC1B 3DG

入場料:£16.50(16歳以下無料)

www.britishmuseum.org

テートモダン別館がオープン

日本クラブに程近いテートモダン・ギャラリーの別館(Switch House)が完成し、一般公開されている。ピラミッドをつぶしてひねったような独特の形をした建物(写真⑥)は展覧会場のほか、最上階の10階

が展望台になっており、ロンドンの360度のパノラマビューが楽しめる。セントポール寺院やテムズ川をはじめ、ウエストエンドやシティーのビル群や遠くにはドックランドを見ることがもできる。この展望台は無料だが、アクセスは地上階からのエレベーターのため、混雑時にはかなり待たされることもある。(10:00-18:00)

Tate Modern(Switch House)

Bankside, London SE1 9TG

www.tate.org.uk

第248回サマー・エキシビション

248年間も続いている伝統のロイヤルアカデミーのサマー・エキシビションが開催されている。一般公募され、専門家に選ばれた1200点余が展示されている。(写真⑦)今年のゲスト・アーティストには仙台生まれの青野文昭氏の作品も含まれている。

Royal Academy of Arts

8月21日(日)まで

入場料:£13.50(with Gift Aid)

まだ間に合います 参院選挙：在外公館投票は7月3日(日)まで

第24回参議院議員通常選挙が日本国内では7月10日(日)に行われるが、それに伴い在外公館投票が6月23日(木)から7月3日(日)の11日間実施される。

投票できるのは、在外選挙人証を所持

している人で、ロンドンにおける日本大使館での投票は午前9時30分から午後5時まで。在外選挙人証と旅券等の身分証明書を所持することになっている。

ロンドン以外の在外公館でも投票できるが公館により投票終了日が異なるので、

事前に当該公館に確認が必要。また、郵便投票、日本国内における投票の方法もある。詳しくは外務省のホームページを参照。
<http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/senkyo/vote.html>

在英国日本国大使館

101-104 Piccadilly, London W1J 7JT

TEL: 020-7465-6565

創設 60 周年を迎えた英国日本婦人会

< 1956 年創設 >

第 2 次大戦後英国には未だ対戦国日本に対する偏見や憎悪が強く残っていた。そんな中 1956 年に「反日感情を和らげるのは婦人の力で!」という意気込みで、当時の西富貴子大使夫人を中心に数人のボランティアが集まり、ロンドン日本婦人会が発足した。会員は 80 名だった。当初は YWCA を会場に日英親善や日本の文化紹介の活動が中心だった。

その後 1960 年の日本クラブ復活に伴い、61 年にはチェルシーの日本クラブハウスに会場を移して活動を継続、夫婦参加のダンスパーティーやケンブリッジ大学でのジャパンデーへの参加、チャリティーのためのバザー等、活動も活発になった。カムデンに日本人学校が出来た 70 年代後半になると、日本企業の進出も増え、それに伴い駐在員家族も増加、80 年代後半には会員数 400 名を越す盛況となった。

< バザーや生活ガイドブック >

創設以来の婦人会の主な活動の一つにバザーがある。特に 80 年代には日本人学校を会場に大きいバザーを開催し、英国人を含めて 1000 人を越す入場者があった。その後日本人学校が大きなアクトン校舎に移転、バザー



創立当時のメンバー

の規模もより大きくなった。バザーの売上金は日英両国のチャリティー団体への寄付や世界の災害見舞金として使われ、また婦人会の資金面での基盤を作ることとなった。

英国で生活する日本人が増加するに伴い、婦人会では旅行者用ではなく、生活する人のためのガイドブックの必要性を感じ、1982 年には出版小委員会を発足させ、「ロンドン暮らしのハンドブック」を刊行した。このハンドブックは改定を繰り返し現在でも刊行されている。

< 現状と将来 >

世界的な経済不況は婦会にも影響を与えている。拡大した規模は担当者の負担増となり、日本企業の縮小で、会員数も 100 名前後に減少、2004 年には「婦会の未来を考える小委員会」を発足させ、今までの 7 セクション制度を廃止したり、運営委員会選出を自薦他薦制度に改革したり、各種の改革が進んでいる。

長い歴史を誇る英国日本婦人会だが、今年の 10 月には創設 60 周年の記念式典が企画されている。(文 加藤節雄)

www.inichilady.com

現会長有地芽渢(ありち・めり)さんに聞く

60周年の節目に会長に選出され、光栄であるとともに責任の重大さを感じております。諸先輩の方々の努力で60周年を迎えることが出来ましたが、私は時代の変遷に即し、日本人女性同士の親睦及び英国から学ぶということに重点を置きながらも、創立者の趣旨を尊重して日英交流も視野に入れて、さらなる躍進を続けられるように努力したいと思います。(談)



第54回日本クラブ年次ゴルフ大会賞品寄贈協賛リスト

(32社 順不同、株式会社/Ltd/Limited等は省略)

Casio Electronics、Euro-Japan Business Management Consulting、Europe Golf、
JX Nippon Oil & Energy Europe、KDDI Europe、Mitsubishi Corporation、Mitsubishi Estate、
Mitsubishi UFJ Trust and Banking、NEC Europe、NTT Europe、NYK Group Europe、
Sumitomo Corporation Europe、Sumitomo Mitsui Trust Bank、Sushi Show、アサヒビール、いけだレストラン、
センターピープル アポイントメント、ロンドン東京プロパティサービス、英国日本通運、あいおいニッセイ同和損保、
三井住友銀行、三菱東京UFJ銀行、商船三井、丸紅、三井物産、全日本空輸、全農インターナショナル欧州、
双日、大和証券キャピタル・マーケットツ、但馬亭、日本航空、富士インダストリーズ



Long Live the Queen!

英国ではエリザベス女王が90歳の誕生日を迎え、お祝いムードです。一般市民としてお祝すると同時に、実は私は一方的に、女王に恩義を感じていることがあるのです。数十年前にイギリス人の夫との結婚に際し、両親は懸念を持っていました。それをよく知る方が、「イギリスは女王陛下をいただく国ですよ」と諭してくださり、両親の心配は霧散したのです。

国会議事堂の見学で上院を訪れると、開会式の説明を受けますが、玉座の椅子は、女王の方がフィリップ殿下の椅子より高くなっていて、差がつけられています。そんなことがいろいろとあるのですが、女王がスピーチをなさる時には必ず、“My husband and I” という順番を守っていらっやいます。

サッチャー元首相が政界のトップであった時には、女性を君主と首相に仰ぐイギリス人論が語られたものでした。「よく女性がトップにいて、イギリス人は平気ですね」というような、今では言えないようなことが話題になっていたのです。その中で穿った見方をする人がいました。

「上層のイギリス人は小さい時からナニーに厳しく、優しく言われて育つので、目上の女性に言われることに慣れているんですよ。何でも “Yes, ma'am” とすることに。」

そういえば、ジェントルマンの元の意味からしても、力づくで何かをしたり、威張り散らすような男性は、その定義から外れてしまうわけです。また、イギリス人男性の中には、自分が引く張って思い通りにするというタイプよりも、皆の意見を聞いて決断をする、文字通りのマネージャー・タイプの人が多いように思います。“manage” とは、様々な個性のある人達（相手）を束ね、困難な問題があってもうまく切り抜けること。たとえ相手の方が目立ったとしても、「自分がいなければ、相手も活躍できない」と自負しているのでしょうか。

長年連れ添ったご夫婦に、その秘訣を聞いた記事がありました。女性が何と言っていたかは思い出せませんが、男性が「何があっても “Yes, Dear” とすることだよ」という含蓄のある言葉は、まさに黄金律として響いてきました。ただ、女性の方も調子に乗って言い過ぎると、“nag” していると思われ、夫は “a henpecked husband”（めんどりにつかれたような恐妻家）と見られることになりますので、注意が必要です。

第54回年次ゴルフ大会

鈴木康浩さんが優勝

今年第54回を迎える日本クラブ年次ゴルフ大会が6月4日(土)メイドンヘッドGCで開催された。雨が多く気温も低い週だったが、当日は昼頃には晴天となり競技は順調に行われた。今年の参加者は64名(男性56、女性8)で、熱戦の末優勝は鈴木康浩さん(日立キャピタル)と決まった。表彰式ではゴルフ場側の来賓を迎え、日本大使館の加藤元彦特命全権公使よりご挨拶をいただき、五百旗頭義高大会委員長より鈴木さんに優勝カップが授与された。

●優勝した鈴木康浩さんの話：

「優勝するとは予想もしていませんでした。クラブを握ったのは10歳、高校、大学ではゴルフ部に所属。就職(1992年)とともにゴルフを封印、2007年ごろから再び火が付きまして。当日は出張続きで体調は万全ではなかったのですが、栄養ドリンクで調整しました。グリーンに乗せるまではミスらしいミスはなかったのですが、記憶にないほどひどいパット内容で情けないやら悔しいやら、

泣きたい気持ちでしたが、同伴競技者の手前、笑顔で頑張りました。」

- 優勝：鈴木康浩／準優勝：谷岡正昭／3位：平口慶幸
- 第54回大会賞：水谷栄男
- ベストグロス賞：男性：塚田忠大(G76)(2年連続)
- 女性：森内純子(G82)
- ※塚田さんは13番NPも獲得、森内さんは4番の女性
- DCも獲得し、男女順位でもグロス3位タイとなった。

●年次ゴルフ大会賞品寄贈協賛リストは6面に



五百旗頭委員長からカップを授与された鈴木氏(右)

日本クラブ理事の交代

- ◆副会長：岩下直也氏から高橋明彦氏へ（ともに丸紅）
- ◆副会長兼副書記長：飯塚直樹氏から池野昌宏氏へ（ともにNEC）
- ◆クラブ施設（正）：梅田直樹氏より塩田勇一郎氏へ（ともに三菱地所）

診療所だより

日本クラブ診療所の医師が交代で書く「診療所だより」は毎偶数月にオンライン版で発行されます。英国の生活に役に立つ医療関係の情報が掲載されています。購読は以下から。
www.nipponclub.co.uk/clinic/information/index.html

日本クラブ・ゴルフ同好会

- ◆月例会：開催中
- ◆会場：Maidenhead Golf Club
- ◆問い合わせ：☎ 07810-545023（西川）
charles.nishikawa@btinternet.com
随時入会受付中（申し込みはHPから）

日本クラブ・ブリッジ会

- ◆例会：毎週木曜日（11:30am 開始）
- ◆会場：ヤングチェルシー・ブリッジクラブ
(http://ycbc.co.uk/)
- ◆問い合わせ：reikoe@btinternet.com（榎枝）
見学者歓迎

日本クラブ・グリーンコーラス

- ◆練習日：毎週月曜日（10:15～12:30）
- ◆会場：Trinity Church, Golders Green
- ◆問い合わせ：sachiko@teranaka.net
（寺中佐知子）

日本クラブ囲碁会

- ◆例会：毎週土曜日（14:00～20:00）
- ◆会場：Inn of Court Pub
地下鉄 Chancery Lane Exit 3 より直進 2分
- ◆問い合わせ：☎ 07956-594040（田中）
tanaka@gokichi.org.uk

クラブサロンのご利用を！

日本クラブのクラブサロンはロンドン中心部セント・ポール大寺院のテムズ川対岸のサザックにあります。ラウンジや会議室、ソフトドリンク、JSTV等のサービス施設があります。テムズ川南岸のこの地区は再開発が進むエリアで、テートモダン・ギャラリーを始め、数々のショップやレストランが並んでいます。地下鉄ジュビリー線のサザック駅から徒歩5分、ロンドン・ブリッジ駅からは10分の便利な距離にあります。会員であれば誰でもご利用になれます。



地図はホームページ（www.nipponclub.co.uk）の「日本クラブご案内図はこちら」を参照してください。

- *建物入口のレセプションで、日本クラブへ行くと教えてください。（会員証の提示を求められることもあります）
- *閉館時間以外はシャッターが降りていて入場出来ません。

● Nippon Club

Ground floor, Europoint Centre
5-11 Lavington Street
Southwark, London SE1 0NZ

TEL : 020-7921-9490, Email : jimukyoku@nipponclub.co.uk

月曜～金曜：午前10～午後9時（事務局は午後6時まで）

土曜：午前10時～午後4時（事務局は休日）

日曜・祭日は原則休館

ロンドン日本人学校

ロンドンにある特性を生かしつつ、学習指導要領に準じた教育を実践しています

- 運動会・文化祭などの行事
- きめ細かな進路指導・進路講演会
- 英語検定や漢字検定の実施
- 放課後の楽しい部活動（5年生以上）
- 整った学習環境
- 英会話や英語活動
- 現地校との交流
- 通学バス利用可



ロンドン補習授業校

英国の現地校等に通学している子ども達が、国語（日本語）の勉強をする「サタデースクール」です

- 毎週土曜日午前中授業
- 校舎はアクトン、プレント、クロイドンの3校舎
- 小・中学部・高等部（学習指導要領に準じたカリキュラム）
- 日本語科（日本語を第2母国語とし、日本語の習得を望む児童生徒対象に7クラス設置）
- 授業回数年間約40回

入学・転入学随時受付 TEL: 020-8993-7145

● 日本クラブ 在英日本企業300社がサポートしています / 英国で50年以上に亘り日本語で最新医療を提供しています

NIPPON CLUB メディカルクリニック

内科
小児科
一般診療

東京慈恵会医科大学の派遣医師が常勤しています

- 各種旅行傷害保険取扱
- 海外派遣員医療保険取扱
- 健康診断・婦人科検診随時実施
- キャッシュレス対応

内科・小児科を中心とした一般診療に加え、健康診断、乳幼児検診、婦人科検診、各種予防接種を行うほか、日本人専門医による内視鏡検査も行っています。最新設備を備えた総合病院内で診療しているため、CT/MRIなどの専門検査や各種専門医への紹介・入院手続きが可能です。

旅行
保険で
キャッシュ
レス

www.nipponclub.co.uk/clinic

Hospital of St John & St Elizabeth (Brampton House 1F)

60 Grove End Road, London NW8 9NH (Jubilee線St John's Wood駅から徒歩3分)

020-7266-1121

(要予約、年末年始と祝日を除く毎日診療)